

廃棄物処理法の法体系について

1. 最近の環境関連法律の制定・改正の動向

背景

〔地球環境問題〕

地球温暖化、オゾン層の破壊、酸性雨等地球規模で環境問題が顕在化している。中でも地球温暖化は、最も影響が大きく、人間社会の活動そのものが原因であるため最も深刻な問題である。



課題

〔地球温暖化対策〕

京都議定書の採択（日本の目標：温室効果ガス6%削減）
二酸化炭素排出量は増加基調で目標達成に向け早期に国内対策強化

〔化学物質問題〕

様々な化学物質による環境汚染に加え、ダイオキシン類など新たな化学物質による環境汚染が顕在化

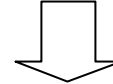


〔化学物質による環境汚染の未然防止〕

ダイオキシン類対策の推進
化学物質による環境リスク対策の体系的な推進

〔廃棄物問題〕

大量生産・大量消費・大量廃棄型の社会経済による廃棄物問題の深刻化
大量の廃棄物の排出
低いリサイクル率
最終処分場の逼迫
不法投棄の増大



〔循環型社会の形成〕

生産から廃棄まで物質の効率的な利用
やりサイクルの推進
資源の消費の抑制と環境への負荷の少ない社会の実現

